

浮世絵からお江戸へ タイムスリップ

～ポストン美術館所蔵の北斎他、絵画の暗号を謎解き～

今回は、NHKプロモーション執行役員企画事業部長でいらっしゃる、牧野健太郎さんをお迎えし、私たち日本人が意外にも知らなかった浮世絵の驚くべき鑑賞法や江戸文化の素晴らしさを牧野さんの笑いに溢れた話術で皆様をお誘いいたします。

実は、ポストン美術館に所蔵された北斎たちは、私たちの目の前に現れることは滅多にありません。今回は、デジタルに取り込まれているからこそ拡大して観ることができる驚愕の事実や、江戸人情、風情に酔いしれることができるのです。

“浮世絵の正倉院”ともいわれる世界に愛される「浮世絵絵画」が、まるでお江戸からの隠された暗号・謎解きのように見えてくるはずです。

北斎、歌川広重、その他の数々の絵師らの意気込みや技、工夫まで、目を配って江戸時代をよみがえらせます。

現代だからこそできる浮世絵の楽しみ方を、時代を超えて、一緒に体験してみませんか。



2014年11月22日(土)

開場 13:00

講演 13:30~15:30

(休憩時間に、お菓子・紅茶をご用意しております。)

受講料 6,000円(税別)

会場 サンカラスタジオ
(南青山骨董通り)

定員 20名

お申し込みをいただいた方から、ご入金いただく銀行口座をメールにてお知らせいたします。

<プロフィール>

NHKプロモーション執行役員企画事業部長
牧野健太郎(まきの・けんたろう)氏

1956年生まれ。公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 評議委員、明治大学・明治大学リバティアーカデミー・NHK文化センター講師。教育番組・アニメーション番組の制作やイベントなどのプロデューサー。2003年よりポストン美術館との共同制作、浮世絵デジタル化プロジェクトの日本側責任者。また、2012年にはユネスコ等に招かれフランス、ポーランド、ルーマニアに文化講演をする。各国からは「ダ・ピンチ・コード」ならぬ「ウキヨエ・コード」と評され、江戸の庶民生活の素晴らしさや、現代に通じる生き方に好評を得た。

